



「上町台地 今昔タイムズ」第10号

# 復活！現代版「汁講」II「知る講」

味噌汁坊一禅こと幕末大坂の稀代のクリエイター・**暁鐘成**も開いた「汁講」に倣って、**風雅に集い、汁(知る)を分け合い清談し、食が結ぶ交わりの風土の真髓に迫る**

上町台地・今昔フォーラムVOL.10

上町台地「今昔タイムズ」\*第10号では、「稀代のなにわ名所案内人 暁鐘成と再びめぐる 上町台地 食が結ぶ高低・聖俗交わりの風土」をテーマに、幕末・大坂の博覧強記の絵師・戯作者 **暁鐘成** のまなざしを通して、上町台地を舞台に「食」(名所・名物)と都市の関係を読み解き、今、改めて都市に求められる機能と価値を捉え直す機会としました。

その編集の過程で、心惹かれる一枚の絵に出会いました。味噌汁坊一禅とも名乗った、暁鐘成が亭主と思しき**鑑(なべ)日(び)清談家 会合の図**。月ごとに風雅なる友が集い「汁講」なるものを開催し、世の中のことを語り合ったとあります。そこで、今回のフォーラムでは、この魅力に富んだ知的営みを現代版「汁講」として復活開催し、亭主役及びゲストの方々とのリレートークとご来場のみなさまを交えたクロストークから、「台地」と「食」が結ぶ大阪ならではの交わりの風土・都市文化の真髓に迫り、その再起動に向けた知の交換・共有の場とします。

\*「上町台地・今昔タイムズ」のバックナンバーや、プロジェクトの歩みは、ホームページ「大阪ガスケル」U-CoRo」で検索してご覧いただけます。



上図は、暁鐘成編の『鑑日奇観』(弘化五年刊の挿図鑑(なべ)日(び)清談家 会合の図)描かれていたのは、暁鐘成が催した「汁講」の様子。月ごとにみそ汁を煮て、集まった知人たちをもてなし、その質素な汁を食しながら、世の中のことをあれこれ語り合ったという。下図は、同書収録の「荻野武家方汁講之図」で、古くから人々に親しまれてきた汁講の由来とともに紹介されている。



『鑑日奇観』富山大学図書館蔵

- 亭主  
**羽雀撰津爺**  
(橋爪節也)大阪大学総合学術博物館教授・文学研究科教授兼任)
- 客  
**美食道探究**  
(椿山一希)日本料理「かこみ」店主
- 路地廻家なでしこ**  
(ワタナベナオミ)からほり倶楽部理事・からほりごはんのなかのひと)
- 鶴亀家満月**  
(古川武志)なにわうまいもん探検隊長・大阪市史料調査会調査員)
- 上方再起堂**  
(池永寛明)大阪ガスエネルギー文化研究所所長)

■開催日時: 2018年9月8日(土) 14:00~17:00頃

■会場: 大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 ホール  
大阪市天王寺区清水谷町6-16

■プログラム(案):

14:00~14:15=開会 ご挨拶・趣旨説明(汁講についてなど)

14:00~14:45=亭主役及びゲストのみなさまの自己紹介

14:45~16:15=リレートーク (亭主による暁鐘成の人物像と、鐘成をめぐる人とまちの関係性、都市文化の読み解きに続き、ゲストそれぞれの立ち位置から、大阪と上町台地の「食」(名所・名物)を通じた人の交わり・文化のあり様についてコメント、その真髓とは何かに迫ります。)

16:15~17:00=クロストーク (ご来場のみなさまを交え、鐘成のDNAを受け継ぎ、「台地」と「食」が結ぶ大阪の高低・聖俗交わりの風土の再起動に向けて、知の交換・共有の場とします。)

◎参加申込: 参加者名・所属・連絡先を書いて、  
FAX.06-6205-3512 (CEL 弘本)へお申込みくださるか、  
<https://www.sumai-machi-net.com/event/portal/event/33237>の  
申込フォームをご利用ください。

◎定員: 50名程度 ※参加無料 ◎問合せ: CEL 弘本 (電話06-6205-3518) まで

■主催: 大阪ガスエネルギー・文化研究所 (CEL) 企画: U-CoRo プロジェクト・ワーキング



地下鉄「谷町六丁目駅」7号出口から徒歩5分ほど

(順不同、敬称略)